

江頭清昌さんのご逝去を悼む

代表 小俣 一郎

当会の初代代表で、平成維新の会では東京エリアのエリアマネージャーを務められた江頭清昌さんが6月19日に逝去されました。

江頭さんは、代表として、また選挙対策委員会委員長として当会を大きくする活動においていつも先頭に立って下さいました。親分肌の江頭さんの周りにはいつも人が集まってきて、その人たちが当会の会員になって下さることも多々ありました。かつて当会は、「政治をよくするために、いい国をつくるために、よい議員となる人を議会に送り込もう」ということを一番の活動目標に掲げていましたので、江頭さんの人を巻き込む力は当会の発展に欠かせないものでした。

私が初めて江頭さんにお会いしたのは平成5年（1993）の11月だったかと思います。もう30年も前のことです。その頃、私が所属していた平成維新の会の東京7区エリアにごたごたがあり、その調整に乗り出してこられたのが江頭さんでした。そのような江頭さんが、当時の衆議院中選挙区制の11のエリアに分かれていた東京が一つのエリアになるにあたり、そのリーダーに選ばれるのも自然の成り行きでした。そして、平成維新の会が頓挫した際に、最大の会員数を擁する東京が無事「平成維新を実現する都民の会」に移行できたのも江頭さんがその中心にどんと構えていて下さったからでした。

「運営会議後の懇親会」「地区の定例会」「元気のでる一日の会」「〇〇さんの激励会・祝勝会」また「神田明神で夜桜を楽しむ会」「平八会」等々本当にいろいろな会で江頭さんにご一緒しました。そして江頭さんはいつもその中心にいらっしゃいました。江頭さんとの思い出は尽きません。

江頭さん、これまでいろいろとありがとうございました。ご冥福をお祈りします。